

# 令和6年度第55回卒業式 仲間と過ごした日々は宝物



1



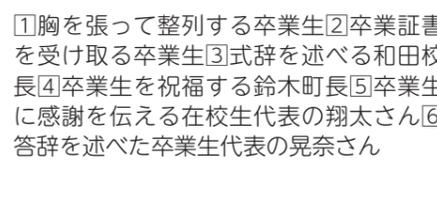
2



3



5



6

1胸を張って整列する卒業生2卒業証書を受け取る卒業生3式辞を述べる和田校長4卒業生を祝福する鈴木町長5卒業生に感謝を伝える在校生代表の翔太さん6答辞を述べた卒業生代表の晃奈さん

令和6年度第55回葛巻高校卒業式は3月1日に同校体育館で挙行され、和田健利校長から43人に卒業証書が授与されました。

和田校長は式辞で「今胸に抱いている決意と葛巻町を思う心をいつまでも持ち続け、それぞれの人生を果敢に切り開いていくことを願っています」とはなむけの言葉を送りました。

また、鈴木重男町長は「多くの体験や経験を生かして、自分の道を力強く歩み、挑戦し続けてほしい。町はいつでもみなさんを応援しています」と激励しました。

送辞では千葉翔太さん（2

年）が「いつでも見本となってくれた3年生の背中ほど大きく、憧れでした。共に築き上げてきた葛巻高校の伝統をしっかり受け継ぎます」と力強く誓いました。

最後に卒業生代表の丸山晃奈さんが「高校生活はコロナ禍に始まりマスク越しに仲を深めようと苦労したことが思い出されます。それからの3年間は宝物のような日々でした。仲間たちや進路に向けて支えてくれた先生方、一番近くで見守ってくれた家族に感謝しています」と高校生活への思いと関わった方々への感謝を伝えました。

## 山村留學生修了式 成長できた寮生活

卒業式に先立ち、2月28日にはくずまき山村留學修了証書授与式がグリーンテージで行われ、第8期生11人に石角則行教育長から山村留學の修了証書が授与されました。

3年生代表の冲山梁太さんは「小中学校よりも思い出深い、そして大きく成長することができた3年間でした。成



修了証書を手にする第8期生とお世話になった皆さん

## 令和6年度「総合的な探究の時間」成果報告会 将来につながる探究を 今後へ意欲

2月26日、1、2年生87人がくずまきのまき×まきホールで「総合的な探究の時間」の成果報告会を行いました。

令和6年度は1年生16班、2年生9班がそれぞれ興味を持った分野で活動。資料や町内外の人からの聞き取りなどから理解を深めたり、フィールドワークで制作活動やイベントを実施するなど、探究活動を展開しました。

探究のテーマは町の食材や自然資源を生かした企画、防災や福祉に関連した企画、町や葛巻高校の魅力発信などさまざまです。

報告会では、はじめに各班で作成した探究の目的や活動内容、今後の予定などをまとめたポスターを使い、同校生徒やコメンテーターら参加者に紹介。活動の結果を写真や映像、実物を用いて紹介するなど工夫を凝らした紹介が多



写真や実物を用いて成果を発表

く、目を引いていました。ステージでの発表は参加者らから支持を集めた各学年上位4班が発表。報告会に参加した町内3中学校の生徒は高校生の取り組みに刺激を受けていました。

コメンテーターの山崎智樹さん（SORASARS株式会社取締役）は「上手くいかなくても方向転換をしながら前向きに活動しているのが印象的。今後もそれぞれの将来につながる探究をしてほしい」とエールを送りました。

生徒たちは同級生の報告やコメンテーターからの助言に真剣に耳を傾け、今後の活動への意欲を高めた様子でした。

## 自然の魅力伝えたい

今回は総合的な探究の時間の活動を紹介します。私はE班「KUN」ねいちゃ〜というチームで「葛巻町の自然の魅力を再確認してもらう」ことをテーマに活動しています。

当初はキャンプ場の設営を目標にしていたのですが、調査を進める中で実際にキャンプ場の設営は難しいと判断し、現在は木材の良さを知ってもらうための企画を考えています。

最近の活動では、真下木工所様にご協力いただきコースターを制作しました。木材からコースターの原型を切り出すところから、カンナがけをし、ヤスリで滑らかにす



＜木材から原型を切り出す作業を行う匠哉さん＞

▷完成した木製コースター



上川原匠哉（3年）

るまで全ての工程を体験しました。職人のように黙々と、そして丁寧に作業しました。このコースターは今後開催するイベントで使用します。参加する皆さんに木材の温かみが伝わるとうれしいです。

これからも班のみんなまで全力で努力していくので、応援よろしく願います。